

第10次基本計画の進行管理について

<進行管理における総合計画審議会の役割>

- 「福岡市総合計画審議会規則」に基づき、「福岡市総合計画審議会」は、総合計画の推進に関し報告を受け、意見を述べることができる。
- 総合計画審議会に対し総合計画の進捗状況として施策評価の結果（案）を報告し、ご意見をいただき、総合計画の着実な推進を図るもの。

<施策評価の基本的な流れ>



- PDCA方式の徹底を図りながら、第10次基本計画に基づく施策事業の進捗状況を定期的に把握・評価し、予算編成に反映することなどにより、施策事業の着実な推進を図るもの。
- 施策評価は第10次基本計画に掲げる30施策を対象に施策単位で実施する。

①現状分析

- ・ 第10次基本計画の分野別目標ごとの「市民意識」の推移や、政策推進プランにおいて定めた施策及び事業ごとの指標、施策に関する社会経済情勢等の変化を把握する。

②施策の評価

- ・ ①現状分析を踏まえ、施策の評価を行う。

③今後の取組みの方向性

- ・ 施策評価の結果や社会経済情勢の変化による新たな行政需要、市民ニーズや施策・事業の進捗状況、行財政状況の変化に応じて、毎年度の予算編成で事業の手法や必要性等のさらなる検証・見直しを行うなど、柔軟かつ適正な対応を図る。



目標1 一人ひとりが心豊かに暮らし、自分らしく輝いている

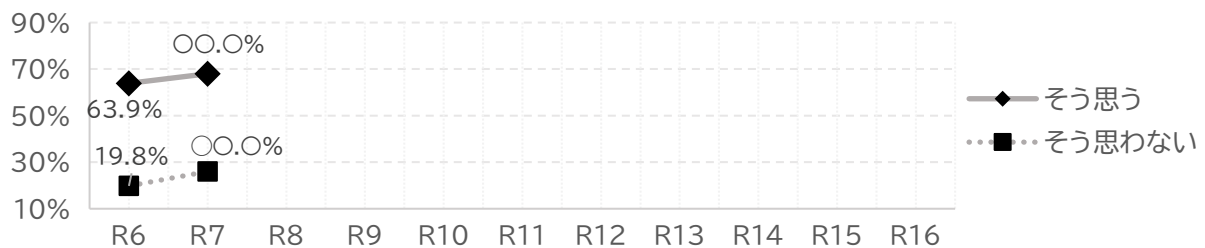
<めざす姿>

- 年齢や性の違い、国籍、障がいの有無などに関わらず、すべての人の人権が尊重され、市民一人ひとりが互いに多様性を認め合うことで、誰もが自分らしく輝いています。
- 市民一人ひとりが、それぞれの知識や経験を生かし、社会の担い手、支え手として意欲的に社会参加するとともに、文化芸術やスポーツ、自然などを身近に感じ、気軽に楽しみながら、健やかで心豊かに充実した生活を送っています。
- 支援を必要とする市民が適切な福祉・介護等のサービスを受け、誰もが安心して、快適に暮らしています。

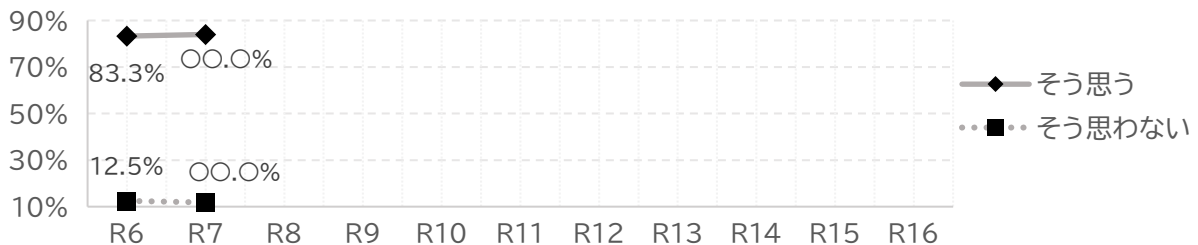
市民意識	そう思う (「どちらかと言えば そう思う」を含む)	そう思わない (「どちらかと言えば そう思わない」を含む)	わからない
(1)年齢や性の違い、国籍、障がいの有無などに関わらず、誰もが尊重される	63.9 %	19.8 %	16.3 %
(2)仕事、文化芸術、スポーツなどを楽しみ、心豊かに暮らせる	83.3 %	12.5 %	4.2 %
(3)高齢者や障がい者が、福祉や介護などを受け、安心して暮らせる	60.5 %	23.2 %	16.3 %

出典：福岡市基本計画に係る意識調査

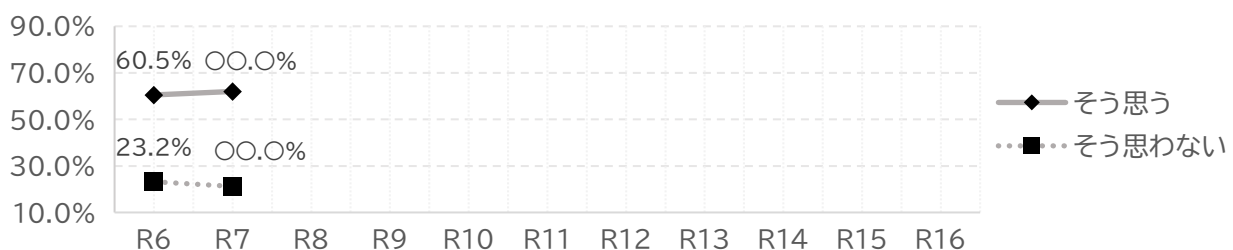
(1)年齢や性の違い、国籍、障がいの有無などに関わらず、誰もが尊重される



(2)仕事、文化芸術、スポーツなどを楽しみ、心豊かに暮らせる



(3)高齢者や障がい者が、福祉や介護などを受け、安心して暮らせる



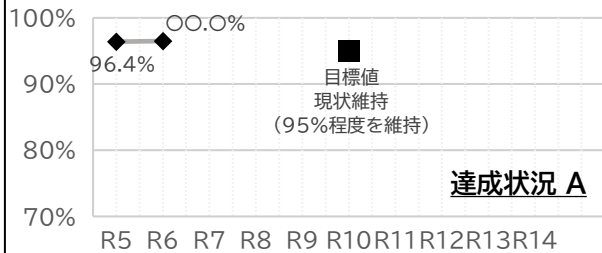
施策1-1 多様な市民が輝くユニバーサル都市・福岡の推進

<取組みの方向性>

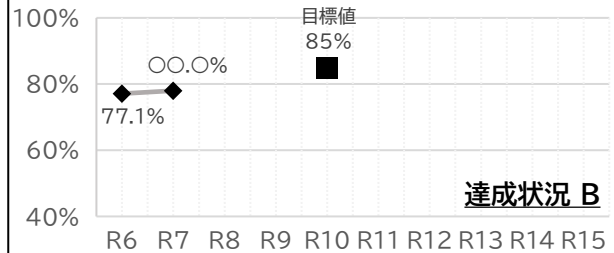
誰もが思いやりをもち、年齢や性の違い、国籍、障がいの有無などに関わらず、すべての人にやさしいまちの実現をめざし、インクルーシブなまちづくり、人権教育・啓発、男女共同参画や多文化共生の推進などに取り組みます。

<施策の指標等>

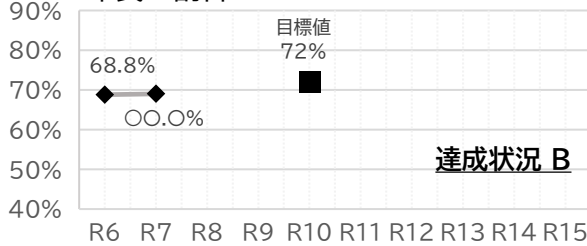
(1)多様性を認めることができる市民の割合



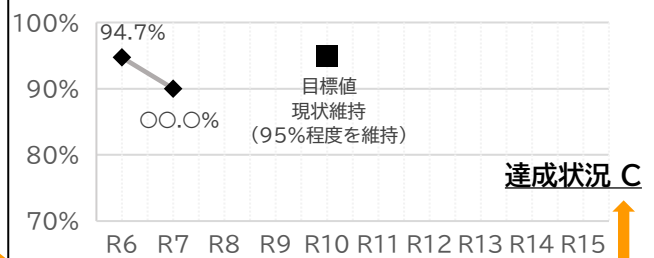
(3)男女の固定的な役割分担意識の解消度



(2)一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合



(4)在住外国人の住みやすさ評価



意識系の指標については、肯定的回答と否定的回答を併記したり、わからないや無回答が多い場合は分母からわからない・無回答を除いて再集計する等多角的な視点で分析することも検討。

(指標の達成状況)

直近の数値に基づき、次のA、B、Cのいずれかを記載。

A：目標を達成している

B：初期値から改善したが、目標には至っていない

または 初期値と同程度で推移し、目標には至っていない

C：初期値を下回っている

(数値が下がると成果が向上するものは、初期値を上回っている)

※意識系の指標については、アンケート調査の誤差を考慮し、初期値からの数値の変動幅が概ね±3%未満の場合は「現状維持」の範囲内とする。

<指標の分析>

(1)について…

(2)について、ほぼ横ばいで推移しているものの、毎年開催している「ハートフルフェスタ 福岡」の(講演会(インターネットでの配信)や展示、体験イベント等を実施)については、来場者の9割超がアンケートで「人権問題について関心を持った」と回答していることから、人権意識の高揚に繋がっているものと考えられる。

事業の指標の状況も踏まえながら、施策の指標の分析を実施。

(3)について…

(4)について…

事業の進捗状況や指標等を総合的に勘案し、次の4段階で評価を実施。

◎：順調

○：概ね順調

△：やや遅れている

×：遅れている

<事業の進捗状況、成果指標等を踏まえた「施策の評価」>

○：概ね順調

(参考)前年度の評価

<事業の指標・進捗状況・課題・今後の方向性>

すべての人にやさしいまちづくり				
＜ユニバーサル都市・福岡の推進＞				
指 標	初期値	最新値	目標値	達成状況
ユニバーサルデザインに基づく取組みの認知度	62.7%	●%	70%	 B
(進捗状況)	(指標の達成状況) 直近の数値に基づき、次のA、B、Cのいずれかを記載。 A：目標を達成している B：初期値から改善したが、目標には至っていない または 初期値と同程度で推移し、目標には至っていない C：初期値を下回っている (数値が下がると成果が向上するものは、初期値を上回っている) ※意識系の指標については、アンケート調査の誤差を考慮し、初期値からの数値の変動幅が概ね±3%未満の場合は「現状維持」の範囲内とする。			
(課題・今後の方向性)				
＜人権教育・啓発＞				
指 標	初期値	最新値	目標値	達成状況
「ハートフルフェスタ福岡」の来場者数	5,208人	●人	現状維持 (5,000人程度を維持)	B
障がい当事者等の講師派遣実施回数(累計)	— (2023年度)	●回	150 回	
(進捗状況)				
・「福岡市人権教育・啓発基本計画」に基づき、あらゆる人権問題の解決を図るため、教育・啓発に取り組むとともに、引き続き、若年層の人権啓発事業への参加促進を図った。 また、すべての人の人権が尊重され、人の多様性を認め合う共生社会の実現を目指すために、性的マイノリティ支援に取り組んだ。 ・北朝鮮人権侵害問題啓発事業 ＊北朝鮮人権侵害問題啓発講演会の開催 R6n:1回 → R7n:○回 ＊拉致問題啓発パネル展の開催 R6n:1回 → R7n:○回 ・若年層の人権啓発事業への参加促進 ＊大学等との共働による「ココロンキャンパス」の実施 R6n:2大学 → R7n:○大学 ＊若年層も聴きやすい構成の人権啓発音源「こころのオルゴール」 ・性的マイノリティ支援の取組 ＊講演会等の開催 R6n:22回 → R7n:○○回 ＊「性的マイノリティに関する支援方針」に基づいた支援を実施 (パートナーシップ宣誓制度、専門相談電話、交流事業、ふくおかLGBTQフレンドリー企業登録制度等)				
(課題・今後の方向性)				
・多くの人の参加を促進するため、インターネット配信やSNS、デジタルサイネージ等を活用した啓発を行っていく必要がある。 ・人権問題は、多様化・複雑化しており、さらなる啓発の推進が必要である。 ・若年層の人権啓発事業への参加が少ない状況であるため、引き続き若年層が参加しやすい内容等の工夫・改善を行っていく必要がある。 ・人権啓発事業については、安全安心に配慮した運営及びインターネット配信など、効果的な広報・啓発を図っていく。 ・性的マイノリティについては、交流事業の充実など当事者等への支援に取り組むとともに、講演会の開催などにより性の多様性に関する市民の理解増進に引き続き取り組む。 ・若年層の人権啓発事業への参加をさらに促進していくために、若年層が関心をもつテーマ、参加しやすい日時の設定、SNS等を活用した広報など工夫して展開していく。				

<性的マイノリティへの支援>				
指 標	初期値	最新値	目標値	達成状況
ふくおかLGBTQフレンドリー企業登録企業数	33 社		60 社	
交流事業の再参加希望率	97.3%		100%	
(進捗状況) ・ (課題・今後の方向性) ・				
<バリアフリーのまちづくり>				
指 標	初期値	最新値	目標値	達成状況
ユニバーサルデザインタクシーの導入率	20% (2023年度)		25% (2025年度)	
生活関連経路のバリアフリー化率	94.5%		99% (2025年度)	
地下鉄車両優先スペースを改修した編成数	9編成		49編成 (全編成)	
(進捗状況) ・ (課題・今後の方向性) ・				
<インクルーシブな子ども広場の整備・運営>				
指 標	初期値	最新値	目標値	達成状況
各区一箇所の整備完了			(2025年度)	
(進捗状況) ・ (課題・今後の方向性) ・				
<障がい者スポーツセンターの機能強化>				
指 標	初期値	最新値	目標値	達成状況
施設整備方針決定			(2025年度)	
(進捗状況) ・ (課題・今後の方向性) ・				

男女共同参画意識の浸透				
<女性活躍の推進>				
指 標	初期値	最新値	目標値	達成状況
「ふくおか女性活躍NEXT企業見える化サイト」登録企業における女性管理職比率	19.8%		23%	
企業向けセミナー等の参加者数	163人		180人	
(進捗状況) ・ (課題・今後の方向性) ・				

多文化共生の推進				
<外国人の生活環境づくり>				
指 標	初期値	最新値	目標値	達成状況
転入手続き時の生活ガイダンスの実施件数	7,200件 (2023年度)		8,000件	
「友達と日本語で会話できるようになって楽しく過ごせた」と回答した、日本語指導を終えた児童生徒の割合	87.5%		増加	
(進捗状況) ・ (課題・今後の方向性) ・				



目標5 磨かれた魅力に人々が集い、活力に満ちている

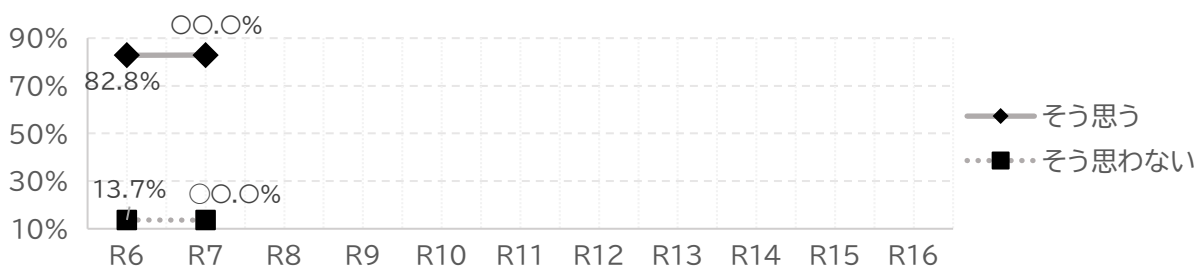
<めざす姿>

- 自然や歴史、文化芸術、食などの多彩な資源が磨きあげられるとともに、福岡都市圏や九州各都市などと連携し、魅力向上に向けた取組みが行われ、一体的な集客力が高まっています。
- 都心に近い舞鶴公園・大濠公園一帯が、市民の憩いの場となるとともに、歴史や文化を生かした観光交流の拠点として機能し、都市の顔として、さらなる魅力の向上に重要な役割を果たしています。
- 国内有数のMICE都市として、様々な国際会議が開催されるとともに、スポーツや音楽のイベントなどが盛んに開催されるエンターテインメント都市として、広く認知されています。

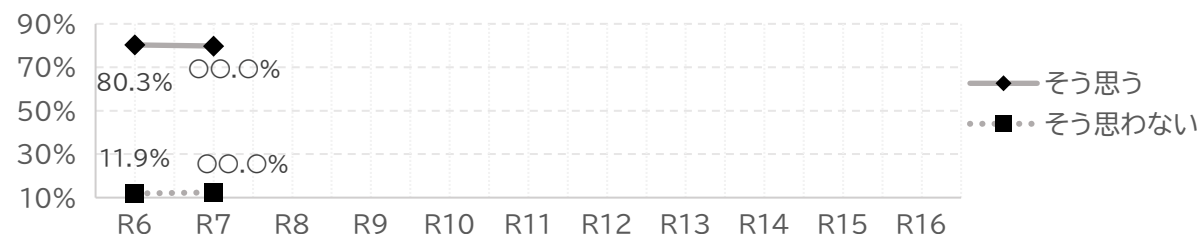
市民意識	そう思う (「どちらかと言えば そう思う」を含む)	そう思わない (「どちらかと言えば そう思わない」を含む)	わからない
(1)自然、歴史、文化芸術、食などの魅力的な観光資源がある	82.8 %	13.7 %	3.5 %
(2)舞鶴公園や大濠公園が、市民の憩いの場や観光スポットになっている	80.3 %	11.9 %	7.9 %
(3)スポーツ観戦や音楽イベントなどのエンターテインメントを楽しめる	88.5 %	7.1 %	4.4 %

出典：福岡市基本計画に係る意識調査

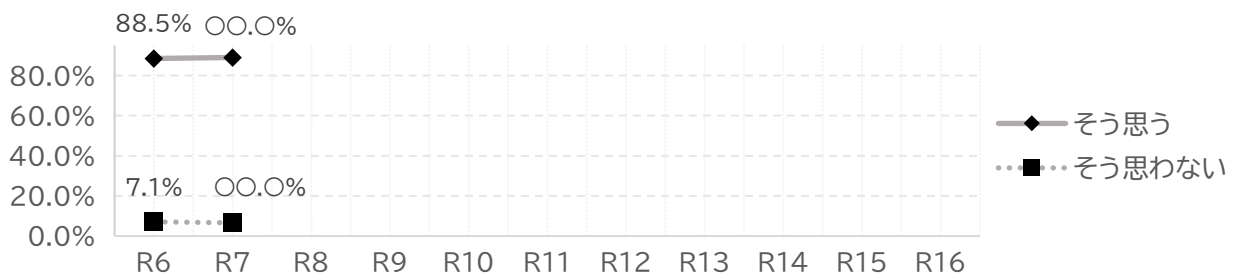
(1)自然、歴史、文化芸術、食などの魅力的な観光資源がある



(2)舞鶴公園や大濠公園が、市民の憩いの場や観光スポットになっている



(3)スポーツ観戦や音楽イベントなどのエンターテインメントを楽しめる

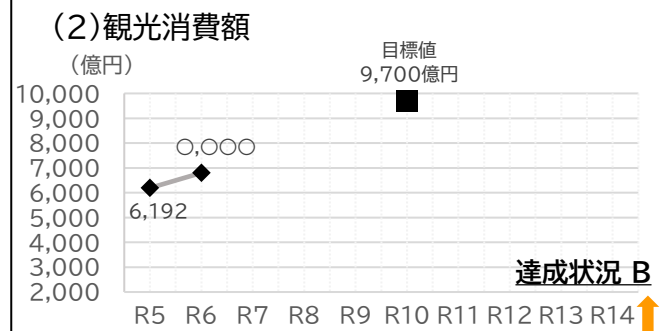
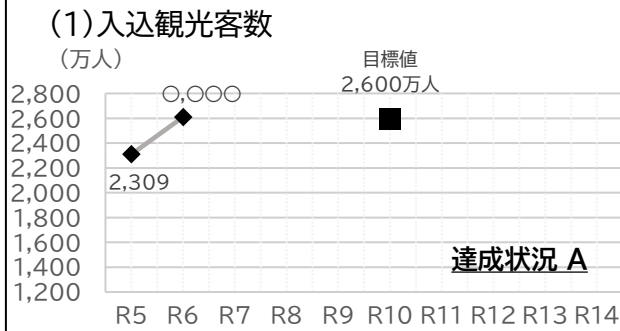


施策5-1 観光資源の磨き上げと戦略的なプロモーションの推進

<取組みの方向性>

自然環境や歴史資源を生かした都市景観、美術館や博物館などの文化芸術、食、祭りなどの福岡市固有の魅力を観光資源として磨き上げ、広域的な連携も図りながら戦略的なプロモーションに取り組むことで付加価値の高い観光誘客を推進するとともに、市民生活の向上を図る持続可能な観光振興に取り組めます。

<施策の指標等>



(指標の達成状況)

直近の数値に基づき、次のA、B、Cのいずれかを記載。

A：目標を達成している

B：初期値から改善したが、目標には至っていない

または 初期値と同程度で推移し、目標には至っていない

C：初期値を下回っている

(数値が下がると成果が向上するものは、初期値を上回っている)

※意識系の指標については、アンケート調査の誤差を考慮し、初期値からの数値の変動幅が概ね±3%未満の場合は「現状維持」の範囲内とする。

<指標の分析>

(1)について...

(2)について入込観光客数は、Fukuoka East&West Coastプロジェクトや博多旧市街プロジェクトなど、自然や歴史、伝統文化などを活かした観光を推進した結果、過去最多の観光客数となった。

事業の指標の状況も踏まえながら、施策の指標の分析を実施。

事業の進捗状況や指標等を総合的に勘案し、次の4段階で評価を実施。

◎：順調

○：概ね順調

△：やや遅れている

×：遅れている

<事業の進捗状況、成果指標等を踏まえた「施策の評価」>

○：概ね順調

(参考)前年度の評価

<事業の指標・進捗状況・課題・今後の方向性>

魅力の磨き上げ				
<海辺を生かした観光振興>				
指 標	初期値	最新値	目標値	達成状況
市営渡船(志賀島航路)の年間観光利用者数	約154,000人		約170,000人	
北崎地区における主要路線バス年間利用者	約322,000人		約355,000人	
(進捗状況)				
(課題・今後の方向性)				
<食のユニバーサル対応の推進>				
指 標	初期値	最新値	目標値	達成状況
外国人観光客の福岡の食の多様性に関する満足度	58.7%		80%	
(進捗状況)				
(課題・今後の方向性)				

戦略的なプロモーションの推進				
<高付加価値な観光誘客>				
指 標	初期値	最新値	目標値	達成状況
高付加価値旅行者の誘客に係る協力事業者数(累計)	22事業者(2023年)		62事業者	
(進捗状況)				
(課題・今後の方向性)				
<広域周遊観光の推進>				
指 標	初期値	最新値	目標値	達成状況
連携団体数(累計)	223団体	●団体	323団体	B
(進捗状況)				
・欧米豪旅行客や高付加価値旅行者をメインターゲットに、西日本・九州の各自治体等と連携した「西のゴールデンルート」の取組みにおいて効果的な魅力発信を行い、広域観光の促進に取り組んでいる。				
(課題・今後の方向性)				
・ターゲットとする国や地域に向けて、主にデジタルを活用した情報発信による誘客・周遊の促進や、回遊分析などによる観光客等の動きやニーズの把握を行う必要があり、付加価値の高い旅行商品の開発やプロモーション等に引き続き取り組む。 ・魅力ある観光コンテンツを有する西日本・九州の各自治体等と連携し、戦略的に情報発信やプロモーションを行っていく必要があり、「西のゴールデンルート」に関する取組みなどを通して、観光消費額の高いヨーロッパ、アメリカをはじめとした新しい市場に対する誘客に引き続き取り組む。				

<事業の指標・進捗状況・課題・今後の方向性>

<福岡型ワーケーションの推進>				
指 標	初期値	最新値	目標値	達成状況
海外デジタルノマドの受入に係る協力事業者数(累計)	6事業者		100事業者	
(進捗状況)				
(課題・今後の方向性)				
<クルーズ客船誘致・受入体制の充実>				
指 標	初期値	最新値	目標値	達成状況
博多港発着クルーズ船寄港回数	26回		40回	
(進捗状況)				
(課題・今後の方向性)				
<市民生活と調和した観光振興>				
指 標	初期値	最新値	目標値	達成状況
外国人観光客のマナーに課題を感じない市民の割合	42.3%		60%	
(進捗状況)				
(課題・今後の方向性)				

＜第9次基本計画における進行管理＞

第9次基本計画の進行管理については、審議会の委員数や審議の方法に関して当時の委員よりいただいたご意見を踏まえ、審議会役員と協議の上、以下のとおりとしてきたもの。

- ・ 審議会委員は25名
 - ・ 審議対象は全施策であるが、特にご審議いただきたい6施策を選定
 - ・ 対面での審議会開催は隔年開催
(対面での審議会を開催しない年は、施策評価結果を委員に送付してご意見をいただく。)
- (特にご審議いただきたい6施策の選定の主な考え方)
- ・ 基本計画策定後の社会情勢の変化や動きなどに対応したもの
 - ・ 施策の進捗がやや遅れているもの
 - ・ これまで「特にご意見をいただきたい施策」として一度も選定していないもの

＜第10次基本計画における進行管理（案）＞

第10次基本計画の進行管理については、第9次基本計画の進行管理を踏まえ、審議会役員と協議の上、今後決定していくもの。